

地域が誇る庭園文化：  
時代が大きく変わっても 庭園の魅力は変わらない



2018年10月（東京都文京区・肥後細川庭園）

◆装い新たに「肥後細川庭園」に

幕末は細川家の下屋敷でしたが、明治15年には細川家本邸の地形を活かした池泉回遊式庭園となりました。回遊式庭園とは周囲を歩きながら広がりのある池や背後の斜面林を鑑賞できる仕組みです。

◆時代とともに庭園風景は変化する

肥後細川庭園は、関口台地と神田川低地に挟まれた斜面緑地を背景につくられ、元もとは木々の梢の間から池や周囲の園地を見渡せていましたが、近年は木々が繁茂して森の中を回遊しているとやや見通しがきかなくなっています。庭園開設当初の樹林はどのような繁茂だったのでしょうか。

岡村幸二（JRRN会員）